

# まおうたき 議会だより

平成21年  
10月号  
2009



王滝ふれあい運動会（9月19日学校校庭にて）



議会9月定例会、20年度決算認定他・・・2～3P

地区懇談会についてなど4人が一般質問・・・5～7P

ポスター掲示場設置条例制定他・・・8P

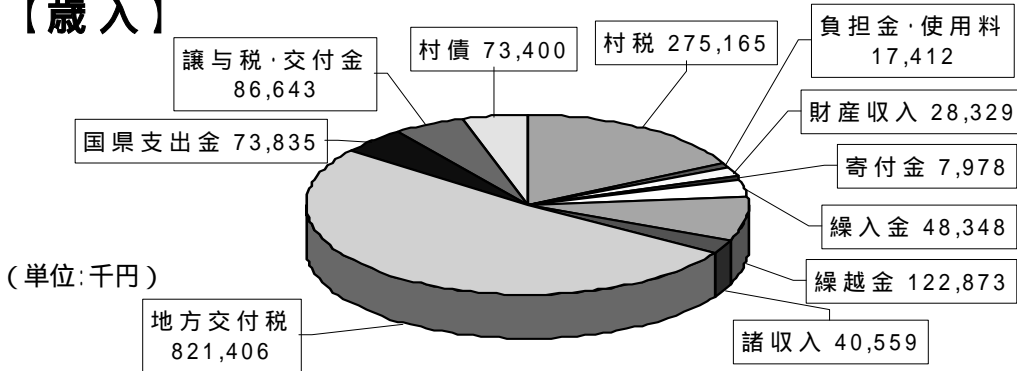
No.105

# 20年度決算認定 9月定例会 開かれる

## 平成20年度一般会計決算

歳入 15億9595万円 (前年比 18.9%)  
 歳出 14億7053万円 (前年比 20.2%)

### 【歳入】



九月定例会第一日目は九月七日に開会、十一日に第二日目が開かれた。一日目には村長提出議案(人事一、事件決議六、条例の改正制定八、二十年度決算認定十一、二十一年度補正予算八)計三十四件と議会提出議案(委員長報告一、発議一)二件の合計三十六件の議案を審議、それぞれ原案どおり同意・認定・可決した。二日目の十一日には、一般質問を行った。

平成二十年度一般会計決算規模は、歳出ペースで十四億七千五十三万円と、対前年比三億七千三百二十七万円、率にして二十・二%の減額となった。それに伴い、歳出の財源不足を補う財政調整基金繰入金が前年比三億三千五百五十万円、率にして九十一・〇%と大きく減額となった。

歳入の対前年比増減率の大きな費目は分担金・負担金(四十三・八%増)、財産収入(二十一・六%増)、繰入金(八十七・五%減)、繰越金(五十三・九%増)、諸収入(二十一・一%減) 国庫支出金(三十二・七%減)、村債(六十一・八%減)。一方歳出では補助費等(五十一・七%減)、災害復旧費(皆減)、積立金(八十七・五%増)となっている。

歳入決算額は対前年比十

八・九%減の十五億九千五百九十五万円である。繰入金を除く自主財源は四億九千二百三十一万円。自主財源自体では三千四百万円ほど増額となっている。依存財源は十億五千五百二十八万円余で対前年比六・〇%減となっているが、災害復旧事業完了に伴う国庫支出金の減や、地域活性化・緊急安心実現総合対策臨時交付金の増、景気低迷による地方消費税交付金の減など、各費目により増減が見られる。

地方交付税については、対前年比六・一%の増、村債については、過疎対策事業費の皆減により六十一・八%の大幅減となっている。

調停額に対する収入未済額は五千七百六万円余であった。

### 特別会計 平成20年度決算

(単位: 千円 千円未満は切り上げ)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	120,232	109,353
診療施設事業	47,832	47,809
老人保健事業	16,027	15,584
後期高齢者医療費事業	10,042	10,036
村営水道事業	23,569	22,019
高原簡易水道事業	21,631	20,207
農業集落排水事業	128,113	128,080
簡易排水事業	2,361	2,315
宅地造成事業	24	20

平成二十年度各特別会計の決算は左表のとおり。

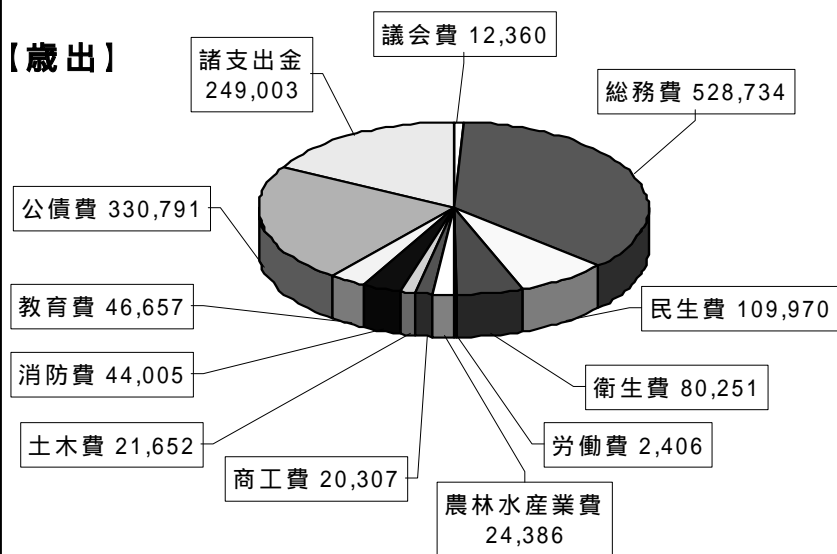
村税の調停額は三億二千九百三十八万円余で前年度より千二百六十四万円余・率で四・〇%の増、決算額では前年度より六百十八万円・率では二・三%の増となっている。村税の徴収率は八十三・五%で前年度より一・四ポイント下がっている。また、地方税百十円余を不納欠損処理した。

〔歳出〕

歳出決算額は、対前年比二十・二％減の十四億七千五十三万円であった。予算に対する執行額は八十七・六％（前年度九十六・六％）である。主な要因は国の補正予算に伴う臨時交付金が年度未交付となり、全額繰越事業となったためである。性質別決算状況では、補

助費等のうち公営企業補助金は対前年比五十八・九％減となっている。これは企業債繰上げ償還の縮小によるものである。平成十九年度の決算剰余金（前年度繰越金）が一億二千二百八十七万円余となったこと等により、財政調整基金へ一億四千二百四十二万円余を積み立てることができた。こ

〔歳出〕



(単位:千円)

れにより、財政調整基金の平成二十年度末現在高は一億千九百六十万円余を確保するに至ったが、財政調整基金は標準財政規模の三割程度が目安とされており、財政安定化のため更なる積立が必要な状況である。

人件費は対前年比三・〇％の増、扶助費は九・七％の減となり、義務的経費全体では、一・八％の増額となった。

投資的経費は、普通建設費が七百三十七・五％の大幅な増（二千七百七十万円）となった。災害復旧費は発生しなかった。

越代表監査委員の結語

財政状況は依然として厳しいため、引き続き財政健全化への取組みを継続しており、債務を確実に減らして財政状況の健全化が進行している。しかし、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、早期健全化団体の指定が確実な状況であり、今後も慎重な財政運営をお願いしたい。また、税収等の収入未済額は、

財政健全化判断比率の報告  
実質公債費比率は三十二・一％

増加傾向にあり、搜索の実施等滞納整理は今までより厳しい対応はされているが、削減にいたっていない。負担の公平性及び歳入の確保の観点から、より徴収体制を強化し効果的に徴収するよう望むものである。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は前年度の決算に基づき左下表の四つの指標を議会に報告、住民に公表することが義務付けられている。当村の数値は表の通りで、実質公債費比率は昨年度の四十一・六％から九・五ポイント改善され三十一・一％となっている。これは、大幅な歳出削減で捻出した資金で公営企業観光施設事業費会計（スキー場会計）の借入金金を、繰上償還することができたことによるもの。

実質公債費比率は過去三年間の平均で計算される。今年度の場合、平成十八年・十九年・二十年の三年平均が三十二・一ということである。今後の見通しとしては、現時点で平成二十一年単年度の実質公債費比率を二十年と同程度

単位%	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	15
連結実質赤字比率	-	20
実質公債費比率	32.1	25
将来負担比率	172.2	350

の十四・〇前後と見込んでい。これを基に二十一年度の実質公債費比率を算出すると、早期健全化基準の二十五％を下回る二十三・五％前後と見込まれる。

今回の報告で早期健全化基準の二十五％を超えているため、今年度中に「財政健全化計画」を策定することになった。

# 木曽広域連合議会報告

## 南部クリーンセンター廃止 木曽寮特養廃止を前倒し

平成21年木曽広域連合第3回定例会は8月28日に開会。議案は、条例・規約の改定に関するものが8件、平成20年度決算認定が3件、21年度補正予算3件、南部クリーンセンターの廃止案件1の計15件が提出され、いずれも原案のとおり可決・承認した。

### 定例会で可決した主な議案は次のとおり。

20年度一般会計決算 歳入3,023,084千円 歳出2,958,554千円

平成20年度木曽寮決算 歳入213,073千円 歳出206,362千円

平成20年介護保険特別会計決算 歳入3,128,699千円 歳出3,073,251千円

木曽広域連合議会に付すべき公の施設の廃止について 南部クリーンセンターの廃止が可決された。

21年度一般会計補正予算(第2号)

補正額56,363千円 情報事業、クリーンセンター統合にかかる経費など

21年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

補正額54,312千円 平成20年度給付費確定に伴う国庫、支払基金、町村への返還金など

### 全員協議会での協議項目

介護保険料特別徴収異動情報作成誤りの経過について

テレビ中継局デジタル化についての県内放送事業者との協議経過報告について

中南信消防広域化協議会の状況について

社会福祉法人サンビジョンによる特別養護老人ホーム建設について

平成20年策定の木曽寮あり方検討プロジェクト報告書によると、24年度から木曽寮の特養を廃止し現施設を全て養護施設として運営する方針だったが、平成22年秋に前倒しして、木曽寮の特養入所者の移行と特養施設廃止が明確にされた。

### 委員会報告

《福祉環境常任委員会》

6月に発生した、データ処理のシステム不具合による介護保険料特別徴収異動情報作成誤りについて  
民間社会福祉法人による特養老施設建設計画について

《経済観光常任委員会》

木曽地域広域観光振興計画プロジェクトメンバー等との伊那地方南部視察の調査報告

### 9月議会で同意、認定、可決された主な議案

- ・王滝村の議会の議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例制定
- ・王滝村教育委員会委員の任命
- ・長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更
- ・長野県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少
- ・長野県市町村自治振興組合を組織する市町村数の減少
- ・長野県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少
- ・木曽広域連合と木曽郡内町村の事務委託に関する規約変更
- ・ごみ処理施設の設置及び管理運営に関する事務の事務委託に関する規約の廃止
- ・王滝村個別外部監査契約に基づく監査に関する条例制定
- ・王滝村行政手続き等における情報通信の技術の利用に関する条例制定
- ・王滝村消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ・王滝村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正
- ・福祉医療給付金条例の全部改正
- ・王滝村福祉医療費資金貸付基金条例の一部改正
- ・王滝村国民健康保険条例の一部改正
- ・王滝村公営企業の設置等に関する条例の一部改正
- ・20年度一般会計歳入歳出決算
- ・20年度特別会計国民健康保険(事業勘定)歳入歳出決算
- ・20年度特別会計国民健康保険診療施設費歳入歳出決算
- ・20年度特別会計老人保健事業費歳入歳出決算
- ・20年度特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算
- ・20年度特別会計村営水道事業費歳入歳出決算
- ・20年度特別会計おんたけ高原簡易水道事業費歳入歳出
- ・20年度特別会計農業集落排水事業費歳入歳出決算
- ・20年度特別会計簡易排水事業費歳入歳出決算
- ・20年度特別会計宅地造成分譲事業費歳入歳出決算
- ・20年度王滝村公営企業観光施設事業会計決算
- ・21年度一般会計補正予算(第3号)
- ・21年度特別会計国民健康保険(事業勘定)補正予算(第2号)
- ・21年度特別会計国民健康保険診療施設費補正予算(第2号)
- ・21年度特別会計老人保健事業費補正予算(第1号)
- ・21年度特別会計村営水道事業費補正予算(第1号)
- ・21年度特別会計おんたけ高原簡易水道事業費補正予算(第1号)
- ・21年度特別会計農業集落排水事業費補正予算(第1号)
- ・21年度王滝村公営企業観光施設事業会計補正予算(第1号)

# そこが知りたい

## 一般質問

本文は質問者の執筆を  
もとにしています。

### 地区説明会の 実施について 下出 謙介

**問** 昨年十月に「王滝村の課題は早期健全化団体から一刻でも早く脱出」をテーマに地区懇談会が開催されている。

以来債務返済が着実に進められ一定の見通しが立ち好転の兆しが見えてきた。従って、村長自ら村民の不安を一日でも早く取り除き王滝村の早期再生に向け新たな取り組み、創造への目標を地区懇談会を通して説明を行っていただきたい。加え新型インフルエンザ対策行動計画についても早期計画のもと、説明を行っていただきたいが、いかがか。  
**答** 毎年一回は行ってきている。今年も十月中旬を目途に開催する予定である。

内容は歳入歳出基準を基にした取り組み、財政状況の今後の見通し、第四次長期振興計画、各課からの連絡事項などを主にやっていきたい。

**問** ピーク時の平成十二年、スキー場債務は二十一億円。十三年から十五年にわたる三年間、借金返済を先送りした結果、負の連鎖により二億円余の金利負担が課せられ、更に悪化。実質公債費比率が四十二・二%破綻寸前まで追い込まれた。住民は財政破綻寸前といった厳しい状況を合併問題を通して地区説明会で知らされたことになる。現在の実質公債費比率は繰り上げ償還などを積極的に行ったことにより前年比九・五ポイント減の三十二・一%まで改善された。前倒し返済による返済比率引き下げ効果とともに、短時間で返済したことにより三

百万円余の金利も軽減された。こうした積極的な取り組みにより来年度決算時には十三%台まで改善する見通しとなってきた。それは、村の全体の予算枠の見直しによる投資的経費普通建設費など歳出を極力減らし、財政調整基金の見直し、特別会計への繰り出し金の見直し、予想を上回る交付金の額、一般職給

与三年間最大で二十五%カット、特別職報酬三十%カット、議員報酬四十%カット、などお茶の間訪問制度を通して直接住民と向き合い、時には厳しい意見も受け止め住民の思いを受け入れながら村おこしを進めてきた情力が報われた結果と言える。  
当初の地区説明会で示されたシミュレーション内容より財政再建は三年短縮されたこととなる。繰り上げ償還によ

り村づくりの遅れを取り戻したことになり村長施策に対して評価するものである。従って、村長には今までの経緯「なぜこうなったのか（借金の原因）」などまで踏み込んだ分かり易い明確な説明をしていただきたい。それを踏まえ、「これからの村は「こうなるんだよ」、「こうした村にするんだよ」といったことまで具体的な村民説明会にしていたら、続投表明のもと、やりたくてもできなかったこと、緊急性の事業は

どれかなど、住民の目線で村づくりを自信を持って進めていく姿勢を示していただきたい。

### 瀬戸村政の総括・村の政治改革について

三浦 征弘

#### 瀬戸村政の総括について

**問** 瀬戸村政の四年間は「借金返済が第一」であったと思いが、これは正しかったと思うか。  
**答** 地方公共団体は住民の福祉の増進及び行政事務を執行しているが、基盤となる財政を健全化するはその責務である。平成十九年六月に財政の健全化に関する法律が施行されたが、当村が達してしまつた基準値を健全化するこ

とが第一としてきた。住民サービスや福祉が他町村と比べて著しく低くなつていない、その中で借金の返済なので問題は無いと思つている。  
**問** スキー場の問題でも正しかったと思うか。  
**答** 協定書に基づいてやっており正しかったと思つているが、まだ五ヶ月近くも任期は残っている。  
**まとめ** 債務返済で財政は健全化されても村の衰退を心配



地区懇談会の様子（東区）

している。

### 村の政治改革について

**問** 人口千人を切り、さらに減少が加速する見込みである。その中で村の行政改革、政治改革が必要と思う。そこで今の議会制を廃止して、「直接民主主義制」が良いと思うが村長はどう思うか。

**答** 直接民主主義は、町村総会といったような住民全員でできる組織があれば良いと町村までは許されている。しか

### 縮小廃止された事務事業・構造改革特区について

立花 裕美子

**平成十七年以降見直され縮小または廃止された事務事業について**

**問** 平成十七年の財政非常事態宣言以来、多くの事務事業が見直され、予算を縮小されたり廃止されてきた。また、財政再建へは到達していないが、少しずつ復活させられる事務事業について準備をしてもいい時期と思うが、その段取りについて長期振興計画との関連も合わせ考えを伺いたい。

し、今行われている代議員制度の方がコストは少なくてすむ。条例の改変等その都度集まってもらわねばならない、多くの人と多くの時間がかかる。また可否のためには二分の一の出席が必要である。具体的な内容が分からないので正確には言えないが、今より予算がかかると思う。  
**まとめ** 小林村政末期に似たようなことをやっていた。法的に可能である。

**答** 長期振興計画の中で取り組んでいきたい。平成十七年村づくり委員会で検討した百十七項目の中では、住民の足の確保、診療所歯科、もちろん内科も憂慮しているが、そのあたりを大至急取り組むべきと考える。観光総合事務所へも現在の一協会員という立場も検討していきたい。その他観光施設事業、敬老会等、様々あるが、廃止のままでもいいものもある。今後精査していきたい。

### まとめ 村づくり委員会でチェックした項目だけでも百十七。

多岐にわたるものだからこそ早めに案を出し、担当職員やそれに関わる村民との話し合いを十分に重ね第二案・第三案と練っていくべきと考える。また予算の話だけではない。今回改めて村づくり委員会の提言をまとめたものをじっくり読み直した。それは部会の担当項目ごとに具体的でよくまとまったものと感心した。そしてその提言の何割かは今実行されている。これまでの努力を評価し、自身を持って次のステップを踏む準備をしていたらきたい。

### 構造改革特区について

**問** 以前、村長は「構造改革特区について今後研究していかなければならない」と述べていたが、その後庁内での取り組みはどうなっているか。今議会で可決された地域情報通信技術活用推進事業と連携させる形で特区について具体的に組み込んで行ってはどうか。

**答** 当時、再建推進室で検討したが、難しいとしてその後取り組んでいない。

### 地域情報通信技術推進事業のコンテンツ作りの段階で考えていけるかもしれない。

ただ立ち上げにそれありきではない。専門の方との協議、合わせ技として膨らませていきたい。

### まとめ 例えば国際交流という観点からビザの発給に便宜を図り海外の研究者や留学生を広く受け入れる、農村と都市との交流という点で、農家民宿に関わる法律（旅館業法など）の規制緩和を図り、観光事業の活性化を目指すなどが考えられる。こういったことも考慮しながらコンテンツ作りを進めていきたい。

### 王滝村の自立 存続について

林 冬樹

**問** 前回六月の一般質問では第四次長期振興計画について質問した。平成十六年から十七年の合併構想の破綻を振り返りあらためて自身で一つの目標を掲げる事とした、王滝村の自治体としての存続である。先のことはわからないとしても、いつかは木曾町と合

併することもあるかと思っている村民も多いと思うが、私自身としては、これからの王滝村の自立のために微力ながら努力して行くことを明確にして行動する事とした。自身がどんな立場で王滝村の自立に貢献できるかはわからないが、私の中では王滝村を自治体としてこれからも存続させたいと思っている。行政や村民との協働の村づくりや村民主導として住民の意見や意向を大切にして村政を行うことは言葉だけでなく村民が肌で感じるような村になればと思う。そこで村長に質問する。  
今議会一日目には瀬戸村長から次回の村長選に再出馬と取れるお言葉をいただき心強く感じているが、村長の考えとしてこれからも厳しい村づくりだが、王滝村について将来は合併ありきなのか、自立の道が基本なのか、また自立の場合もつとも重要と思われることがあれば教えていただきたい。  
**答** 木曾町との合併が不承に終わってからはスキー場債務という重い背負子を背負って自立の道を村民みんなで共

# 元気ネットワーク

有し、御嶽登山で例えれば一口水か、もう少し上まで登ってきたのかなと財政的には現状で在ろうかと。国の自治体に対する考え方が第二十九回地方制度調査会で示され小規模自治体の自立は予断を許さない状況にある。依存財源の地方交付税の仕組みが今後どうなるか注視して行かなければならず、政権交代によって

地方への配分が減らない制度になってほしいと期待するが不安な部分もある現状である。村は財政的にも先が見えて来た状況の中で王滝村を存続維持して行くことがベターな選択であろうと思う。村はこれまで国策に翻弄されながら自治体名は、ある信州大学の先生によれば日本一古い村ではないかとの話もあり村民も愛

着や感慨深さを持っている。第四次長期振興計画では参考意見として村民に今後の村の在り方を問うアンケート結果と国の方針を注視し、がんばるところまで行く思いでいる。

**問** 村が存続して行くことが第一と言う事は分かったが自立のため重要と思われることをもう一度聞きたい。

**答** アンケートについては村民が現状どう捉えているのかわりたいと言うことで、参考でなく意向を確認する中で進めることで、国の諸制度がどうなっていくかで左右され、意向でどうなることではない可能性もあり、そういった物を見極め情報を開示しながら答えを出して行き議論していく必要があるが見えない部分

が今はある。

**問** 自立存続には観光の再生や例えば老人福祉施設の誘致などにより村税の収入増や職場の確保など具体的施策が必要と思ひ質問した。どの部分を努力していったらいいか聞きたかった。

**答** 再出馬の際しっかりと私なりのものを示したい。

今回の元気ネットワークには、御嶽神社にお勤めの瀬戸暢さん(野口区)にご登場いただいた。

## みんなが笑顔になれる村に

**問** この夏は頂上奥社へは、どのくらい上がってらっしゃったんですか？

**答** 全部で一ヶ月くらいです。登山回数は六回でした。

**問** 山頂の様子を逐次CATV画像へお知らせいただいたようですが、どんな思いから発信されていたんですか？

**答** 初めは役場職員の方から頼まれたので送っていました。TVを見た村民の方をもっとたくさん登ってきていただけたらという思いです。

**問** 信者さんや登山者に変化

はありませんか？

**答** 信者さんは高齢化、後継者不足等で頂上まで来れない人が増えて、日帰りが多くなっています。登山者はマナーの悪い人がふえているかな。境内で騒ぐ、信者さんの参拝の邪魔をする、いきなり写真を撮る、ゴミを捨てていくなど。

**問** 御嶽山は今後どのような山になっていくのでしょうか？

**答** 御嶽山についてはまだまだ勉強不足ですのでもっといろいろな方から学んでいきたい。さっきも話しましたが、

い。

参拝者は減少傾向なので、ツアー客等の登山者に対して神社がどのようにしていけばいいのか、考えていきたい。

**問** 最近の村の状況で感じることありますか？

**答** 役場や一部の人達にまかせつきりで、まとまりに欠けている感じがします。以前のような区対抗の村民運動会・仮装行列等でまとまりを作っていく必要があるのではないのでしょうか。

**問** これからの村については？

**答** 小さな村ですが、住んでいる人も訪れる人もみんなが笑顔になれる村にしていきたい。私自身はもつと村の行事等に積極的に参加して、村民のみなさんから信頼される人間に、また神主として成長していきたい。



瀬戸 暢さん

インタビューを終えて

「ご自身がいつも笑顔の瀬戸さん、村に笑顔をとという言葉に説得力があった。神社の仕事を通して、王滝村にとって御嶽山の存在」を常に意識されているようだ。今一度、考え直す時期なのかもしれない。

# 議会日誌

## 7月

- 22日 平成20年度決算審査(2日目)
- " 愛知用水建設殉職者慰霊祭及び水源感謝祭
- 23日 平成20年度決算審査(3日目)
- 26日 議会だより編集特別委員会
- 27日 平成21年度町村議会議員研修会(松本市)
- " 御嶽神社例大祭
- 28日 "
- 29日 例月出納検査(6月分)
- 30日 木曽郡町村議会議員総会(上松町)

## 8月

- 1日 議会だより104号発行
- 2日 長野県消防ポンプ操法大会(須坂市)
- 4日 愛知中部水道企業団議会議員との交流会  
(木曽町日義)
- 5日 平成20年度決算審査講評
- 7日 御神火祭(木曽町三岳)
- 15日 村成人式(村公民館)
- 19日 平成21年度ボイス81地域会議(木祖村)
- 26日 議会全員協議会・議会運営委員会
- 27日 例月出納検査(7月分)
- 28日 木曽広域連合8月議会定例会
- 31日 平成21年度県際交流協議会総会  
(中津川市)

## 9月

- 6日 福祉健康の集い(村保健福祉センター)
- 7日 9月議会定例会(初日)
- 11日 9月議会定例会(2日目)
- 19日 王滝小学校運動会・王滝村ふれあい運動会
- 28日 長野県町村議会議長会政務調査会合同部会
- " 例月出納検査(8月分)

## 10月

- 1日 議会だより105号発行

## 郡議員総会開かれる

七月三十日、木曽郡町村議員総会が上松町の勤労者福祉センターで開かれた。自治功勞者表彰の後、前年度総会決議事項の処理報告が行われ、今年度の議案審議に移り次の七議案が採択された。

障害者への就労支援体制等の充実を求める中央西線に再び蒸気路の整備促進

機関車を走らせ木曽路復活を  
木曾川水系の河川管理・河川整備の促進  
新たな過疎対策法の制定  
県立木曽病院の医師等医療技術者の確保  
鳥獣による被害対策の推進  
木曽地区主要幹線道路の整備促進

## ポスター掲示場設置

### 議員発議で新たに条例制定

今議会第一日目に議員発議により、王滝村の議会の議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例が制定された。

これまで王滝村では県や国の選挙の際にはポスター掲示場が設けられてきたが、村議会議員と村長の選挙の際には条例がないため、設けられなかった。郡内町村には既に条例があり、ポスター掲示

が行われてきている。今回の発議は全会一致で可決され、次回選挙(十月十一日)から適用される。その後、選挙管理委員会での検討の結果、村内九か所(崩越・中越・公民館・役場・保健センター・九蔵・野口・滝越・二子持)に設置されることとなった。

## 教育委員会委員に

### 滝正昭氏 再任

王滝村教育委員会委員の任期満了に伴い、引き続き滝正昭氏の再任が承認された。

任期は、平成二十一年十月一日より平成二十五年九月三十日までの四年間。

## 編集後記

議会だよりの編集に携わって四年が過ぎようとしている。何度か研修会に参加したし、郡内他町村の編集委員との意見交換、情報収集も行ってきたが、なんとも難しい。縦書きで予算・決算の数字を表記して、果たして村民にうまく伝わるのか? 感情や感想を排除することの難しさも痛感している。

次期の編集委員の方には、紙面構成の大胆な改革も視野に入れて進めていただきたいと思います。

(裕)